

3-5 放課後児童クラブ

(1) 施設の概要、設置状況

放課後児童クラブは、伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例に基づき14の施設が設置されており、概ね小学校低学年までの児童を対象とした児童クラブの運営を行っています。運営については、全ての施設が指定管理者制度を利用しています。

なお、小学校の空き教室や敷地内、公共施設の一角を利用してサービスの提供を行っている施設が多いのが特徴です。

施設名称	地区	所管課	施設延床面積	駐車場	運営形態	設置根拠	備考
放課後児童クラブ キッズうえの	上野	こども家庭課	136.52㎡	無	指定管理	児童福祉法第34条の7/伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例	伊賀市社会事業協会に指定管理
放課後児童クラブ フレンズうえの	上野	こども家庭課	131.36㎡	無	指定管理	児童福祉法第34条の7/伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例	伊賀市社会事業協会に指定管理
放課後児童クラブ 第2フレンズうえの	上野	こども家庭課	145.74㎡	有	指定管理	児童福祉法第34条の7/伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例	伊賀市社会事業協会に指定管理
放課後児童クラブ ウイングうえの	上野	こども家庭課	145.12㎡	無	指定管理	児童福祉法第34条の7/伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例	伊賀市シルバー人材センターに指定管理
放課後児童クラブ ふたば	上野	こども家庭課	219.25㎡	有	指定管理	児童福祉法第34条の7/伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例	伊賀市社会事業協会に指定管理
放課後児童クラブ 風の丘	上野	こども家庭課	176.05㎡	有	指定管理	児童福祉法第34条の7/伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例	伊賀市社会事業協会に指定管理
放課後児童クラブ 第2風の丘	上野	こども家庭課	126.27㎡	有	指定管理	児童福祉法第34条の7/伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例	伊賀市社会事業協会に指定管理
中瀬放課後児童クラブ ネバーランド	上野	こども家庭課	94.00㎡	無	指定管理	児童福祉法第34条の7/伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例	中瀬小学校の1室を利用。伊賀市シルバー人材センターに指定管理
放課後児童クラブ 「あっとほうむ」	大山田	大山田住民福祉課	154.47㎡	有	指定管理	児童福祉法第34条の7/伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例	大山田放課後児童クラブ運営委員会が実施
放課後児童クラブ 「げんきクラブ」	青山	青山住民福祉課	120.49㎡	有	指定管理	児童福祉法第34条の7/伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例	放課後児童クラブ「げんきクラブ」保護者が運営
河合小学校区放課後 児童クラブ「ポップコーン」	阿山	阿山住民福祉課	80.00㎡	無	指定管理	児童福祉法第34条の7/伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例	河合小学校内の一室を利用。河合小学校区放課後児童クラブ運営委員会が運営
壬生野放課後児童クラブ	伊賀	伊賀住民福祉課	40.00㎡	有	指定管理	児童福祉法第34条の7/伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例	壬生野福祉ふれあいセンター内の一室を利用。壬生野放課後児童クラブ運営委員会が運営
柘植放課後児童クラブ	伊賀	伊賀住民福祉課	45.00㎡	有	指定管理	児童福祉法第34条の7/伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例	借建物を平成16年に改築して利用。NPO法人ふれあいステーション都美恵に指定管理
鳥ヶ原放課後児童クラブ	鳥ヶ原	鳥ヶ原住民福祉課	42.00㎡	無	指定管理	児童福祉法第34条の7/伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例	鳥ヶ原地区市民センター内の一室を利用。鳥ヶ原放課後児童クラブ運営委員会に指定管理

表2-3-13 放課後児童クラブの一覧



放課後児童クラブ風の丘



放課後児童クラブふたば

(2) 施設の状況

放課後児童クラブを構成している14棟の老朽化率の平均は27.3%となっており、平成以降に整備された建物が多いため耐震性も概ね有しています。しかし、中瀬ネバーランド、河合ポップコーンなどは老朽化率の高い小学校の一室を利用しているため、耐震性が低くなっています。また、柘植については、民間の建物を利用しています。

施設名称	建物名称	延床面積	建築年度	老朽化率	残存年数	主体構造	耐震性	大規模改修	建物性能
放課後児童クラブ キッズうえの	学童保育施設	136.52㎡	平成12年度	46.0%	11年	木造	有	無	2.7点
放課後児童クラブ フレンズうえの	学童保育施設	131.36㎡	平成8年度	42.0%	19年	鉄骨造	有	無	3.0点
放課後児童クラブ 第2フレンズうえの	学童保育施設	145.74㎡	平成20年度	6.0%	31年	鉄骨造	有	無	3.9点
放課後児童クラブ ウイングうえの	学童保育施設	145.12㎡	平成12年度	30.0%	23年	鉄骨造	有	無	3.2点
放課後児童クラブ ふたば	学童保育施設	219.25㎡	平成23年度	0.0%	34年	鉄骨造	有	無	4.0点
放課後児童クラブ 風の丘	学童保育施設	176.05㎡	平成17年度	15.0%	28年	鉄骨造	有	無	3.6点
放課後児童クラブ 第2風の丘	学童保育施設	126.27㎡	平成20年度	9.2%	19年	木造	有	無	3.5点
中瀬放課後児童クラブ ネバーランド	学童保育施設	94.00㎡	昭和49年度	79.2%	10年	鉄筋コンクリート	無	無	1.8点
放課後児童クラブ 「あっとほうむ」	学童保育施設	120.49㎡	平成19年度	12.6%	20年	木造	有	無	3.5点
放課後児童クラブ 「げんきクラブ」	学童保育施設	154.47㎡	平成16年度	13.2%	40年	鉄筋コンクリート	有	無	3.9点
河合小学校区放課後 児童クラブ「ポップコーン」	学童保育施設	80.00㎡	昭和40年度	99.0%	1年	鉄筋コンクリート	無	無	1.4点
壬生野放課後児童クラブ	学童保育施設	40.00㎡	昭和43年度	100.0%	0年	鉄骨造	有	無	1.6点
柘植放課後児童クラブ	学童保育施設	45.00㎡	平成16年度	37.5%	15年	木造	無	無	3.0点
島ヶ原放課後児童クラブ	学童保育施設	42.00㎡	平成16年度	13.2%	40年	鉄筋コンクリート	有	無	3.8点

表2-3-14 建物性能一覧表

放課後児童クラブの建物性能評価点を施設単位で比較した図2-3-25のグラフでは、用途内の平均点(3.0点)が全施設の平均(2.7点)よりも高くなっていることがわかります。

個別施設については、中瀬放課後ネバーランド(1.8点)、河合ポップコーン(1.4点)、壬生野(1.6点)の建物性能評価点が、平均よりも低くなっています。

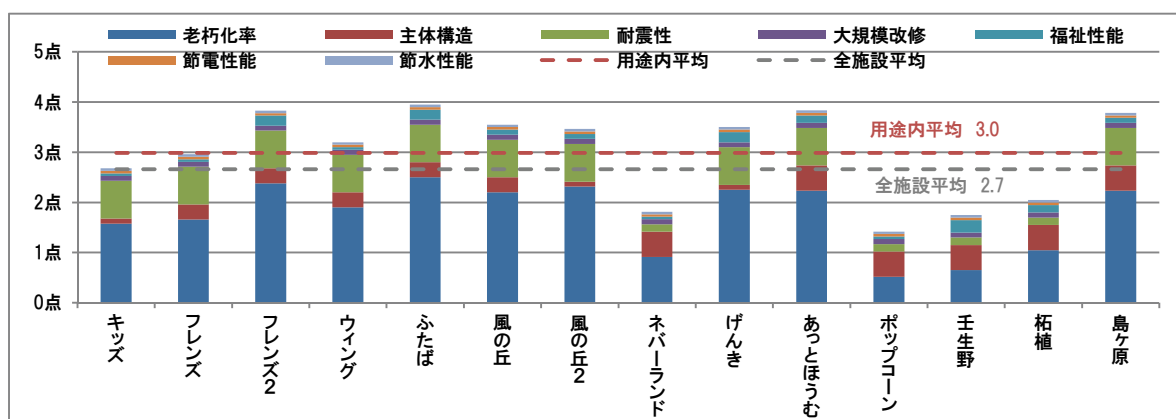


図2-3-25 建物性能評価点の比較(5点満点)

(3) 財務の状況

図2-3-26は、施設保有コストの過去3年間の推移と面積当たり保有コストを比較したグラフです。放課後児童クラブ全体の施設保有コストは（4,337千円/年）となっています^{※85}。

なお、ふたばは、平成24（2012）年度に供用開始された施設のため、保有コストがゼロとなっています。

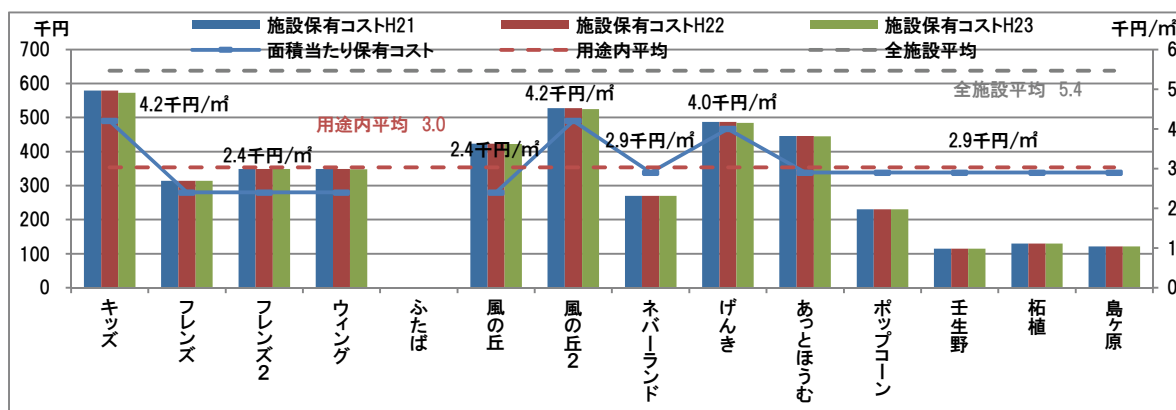


図2-3-26 施設保有コストの推移と面積当たり保有コストの比較

利用者一人当たり総コストについては、ネバーランドが191,548円/人と、平均114,240千円/人を上回っています。一方で、ウイング、風の丘、げんきクラブ、ポップコーン、壬生野については100,000円/人以下となっています。

このため、最も少ない風の丘（53,275円/人）と最も多いネバーランド（191,548円/人）では、3倍以上の差が生じています。

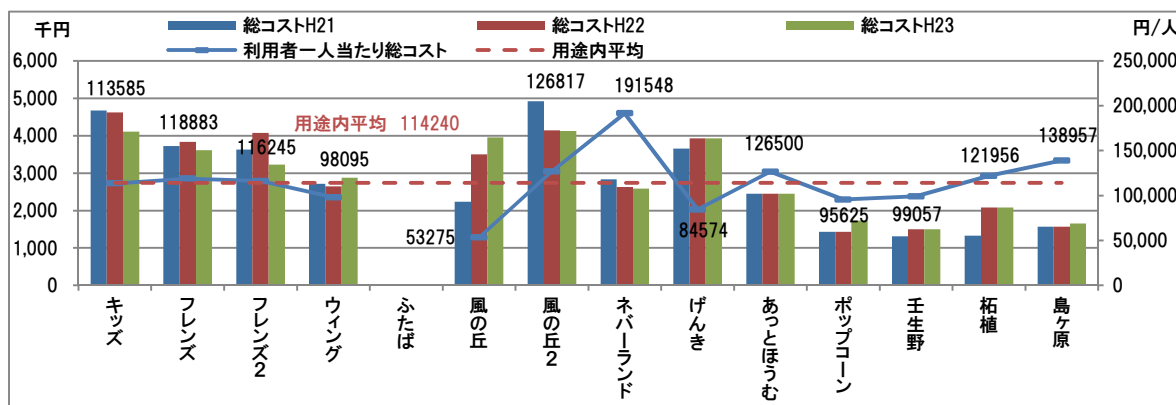


図2-3-27 総コストの推移と利用者一人当たり総コストの比較

※85放課後児童クラブでは指定管理者制度を導入しているため、光熱水費などは指定管理料に含まれており、かかっていません。

(4) 供給の状況

放課後児童クラブの平成23（2011）年度の利用者数^{※86}は9人から64人となっています。また、過去3年間の利用者数の増減率を比較すると、施設毎に大きな差が見受けられます。なお、ふたばについては、平成24（2012）年度に開設された施設のため、利用者数などのデータを記載していません。

施設名称	利用者数_H21	利用者数_H22	利用者数_H23	増減率	年間利用の定員	定員に対する稼働率
放課後児童クラブ キッズうえの	40人	37人	41人	2.5%	40人	98.3%
放課後児童クラブ フレンズうえの	36人	23人	35人	-2.8%	60人	52.2%
放課後児童クラブ 第2フレンズうえの	31人	38人	25人	-19.4%	60人	52.2%
放課後児童クラブ ウイングうえの	30人	26人	28人	-6.7%	40人	70.0%
放課後児童クラブ ふたば	—	—	—	—	70人	—
放課後児童クラブ 風の丘	57人	61人	64人	12.3%	60人	101.1%
放課後児童クラブ 第2風の丘	43人	34人	27人	-37.2%	60人	57.8%
中瀬放課後児童クラブ ネバーランド	8人	13人	21人	162.5%	30人	46.7%
放課後児童クラブ 「あっとほうむ」	50人	45人	41人	-18.0%	55人	82.4%
放課後児童クラブ 「げんきクラブ」	21人	20人	17人	-19.0%	30人	64.4%
河合小学校区放課後 児童クラブ「ポップコーン」	19人	11人	18人	63.6%	30人	53.3%
壬生野放課後児童クラブ	—	17人	12人	-29.4%	20人	72.5%
柘植放課後児童クラブ	—	21人	9人	-57.1%	20人	75.0%
島ヶ原放課後児童クラブ	—	8人	15人	87.5%	20人	57.5%

表2-3-15 放課後児童クラブの利用状況

放課後児童クラブについては、定員充足率（定員に対する年間登録者数）を指標として比較を行いました。定員充足率の平均は68.0%となっていますが、ネバーランドでは46.7%と50%未満となっています。

一方で、キッズうえの、ウイングうえの、風の丘、げんきクラブでは80%を超えています。

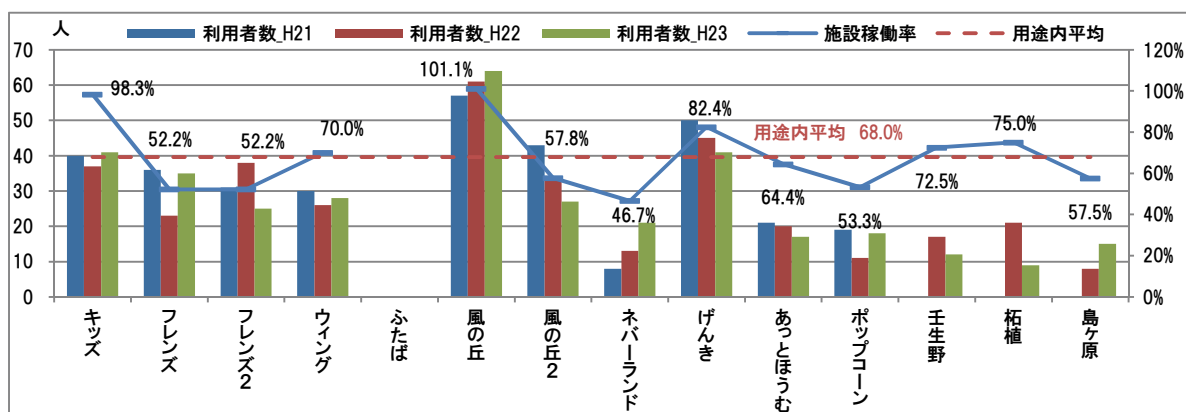


図2-3-28 利用者数の推移と施設稼働率の比較

※86 年間登録者数とし、季節預かりや一時預かりの人数を除いています。

(5) 施設配置状況及び需給の動向

放課後児童クラブは、サービス供給エリアを小学校区、需要者を5歳から9歳と設定しました。5歳から9歳の一人当たりの供給状況を比較すると、ウイングうえの（府中小学校区）が1.53、あっとほうむ（河合小学校区）が1.32と、需給バランスが平均の1.00を超えています。

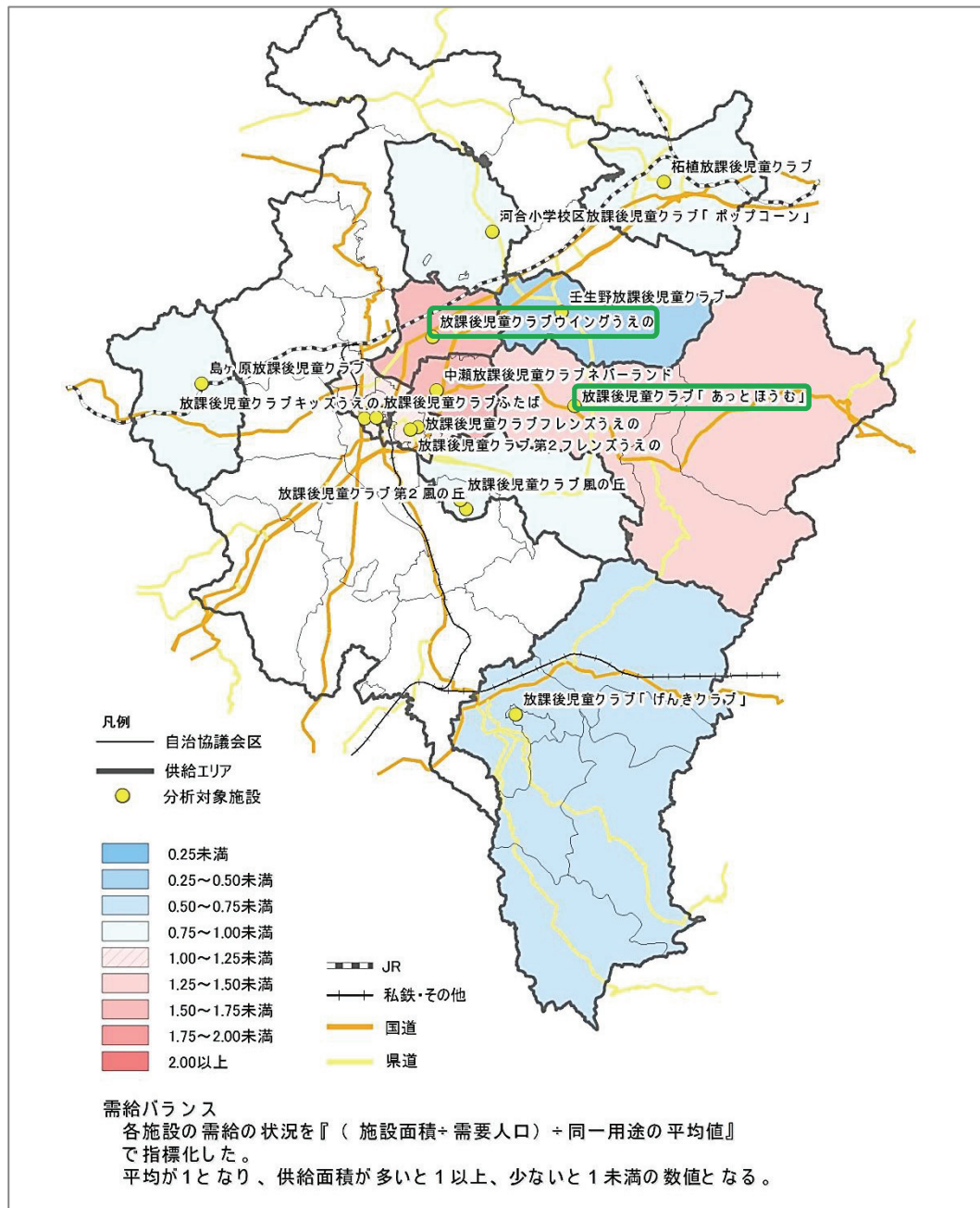


図2-3-29 需要人口（平成22年10月1日時点）一人当たりの施設供給量の比較

また、需要人口の将来推計から、供給エリア内の5歳から9歳人口は、平成 22（2010）年度の2,998人から平成47（2035）年度には1,668人と、44.4%の大幅な減少が見込まれます。

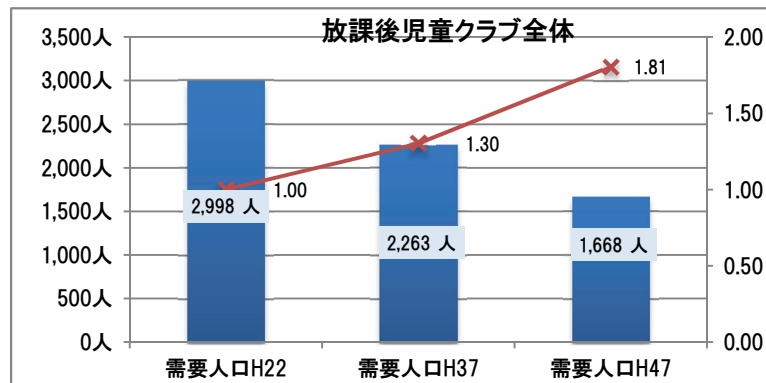


図 2-3-30 放課後児童クラブの需要人口と需給バランスの将来推計

また、個別エリアの将来推計からは、府中小学校区の需給バランスが1.53から2.45、河合小学校区では1.32から2.39へと変化することが見込まれます。なお、中瀬小学校区では、一時的な増加が見込まれるものの、長期的には大幅な減少が見込まれます。

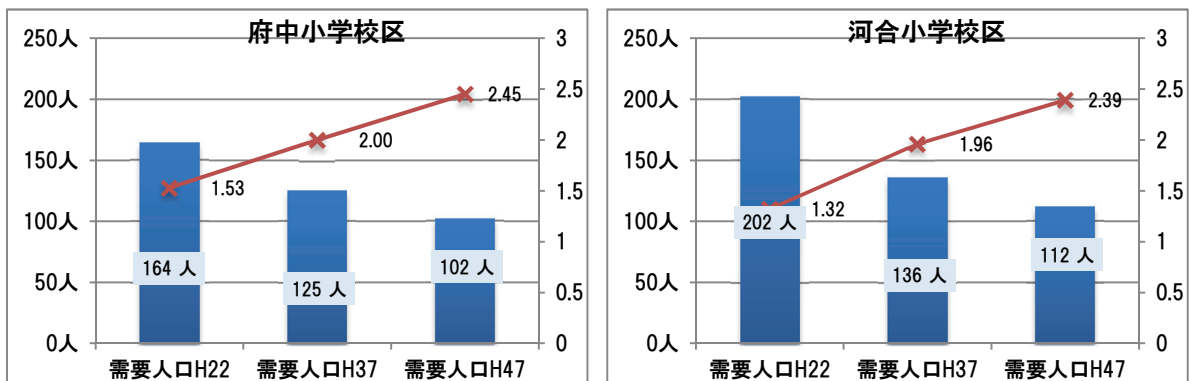


図 2-3-31 需要人口と需給バランスの将来推計（府中、河合）

上記までの需給動向の推移から、府中小学校区及び河合小学校区を中心に、将来的には、需要人口に対して現在の供給量がより余裕傾向となっていくことが想定されます。

(6) 現状と課題

<施設>

全体の老朽化率は27.3%と良好な値となっています。特に、平成10（1998）年以降に整備された単独の放課後児童クラブの品質が高くなっています。しかし、小学校や民間建物などを間借りしている中瀬、河合、柘植については老朽化が進み耐震性も低くなっています。

<財務>

指定管理者制度を導入しているため、総コスト37,569千円/年のうち、指定管理料及び事業運営委託費が31,949千円/年と85%と大きな割合を占めています。また、利用者一人当たりコストでは、約3倍の差が生じているなど、一人当たりで比較した効率性に大きな差が生じています。

<供給・需給>

過去3年間の利用者数は増加傾向（45人、9%増加）ですが、少子化などの影響もあり、平成47（2035）年度には5歳から9歳の人口は約44%減少することが想定されています。

このため、短期的には施設の充実を図る必要がありますが、中長期的には規模の適正化や他施設との複合化を検討する必要があると考えます。

